

# 「平成27年レジストン会 全国総会」開催!

## 新製品「ミニシリーズ」を発表!

### ニューレジストン

ニューレジストン(株)の販売店組織「レジストン会」を主催し、関係者約300名が出席した。10月28日・29日の2日間、横浜市の横浜ベイホテル東急において、「平成27年レジストン会全国総会」を開催し、関係者約300名が出席した。初日の午後2時から、第1部の「講演会」が実施され、(株)独立総合研究所・青山繁晴社長が「資源大国へ、祖国は甦る」と題する講演を行った。そして、午後4時から、第2部の「総会」が行われ、最初に、ニューレジストン(株)・山内憲司社長が登壇し、「中国の株価



挨拶するニューレジストン(株)山内憲司社長  
同レジストン会吉田充孝会長

下落により、景気は不透明感が強まっている。当社が15年3月期決算は、売上高が29億63百万円(前年比横ばい)、利益が1億5百万円(同23%増)となり、皆様のおかげで今年1~3月の景気低迷期を乗り越えることができた。砥石業界のここ数年間の出荷実績を見ると、切断砥石は出荷量・売上金額ともに堅調に推移しているものの、オフセット砥石は厳しい状況が続いている。1975年に発足したレジストン会は今年で40周年を迎え、当社は2年後の17年に創業50周年を予定している。海外生産を行う競合他社に対し、当社は日本国内で独自技術に基づくきめ細かい製品開発を継続していきたい」と挨拶した。続く支部長挨拶では、最初に、葛西信二東北支部長(株)東酸・社長が、東北の復興状況に触れつつ鉄骨案件増による砥石の需要増を期待していると述べ、次に、内村武志九州支部長(サツ



懇親会での乾杯のもよう

マ酸素工業(株)社長が、弛まないR&Dに基づく新製品の開発とお客様への十分な提案活動の助成を引き続きお願いしたいと述べた。そして、代理店レジストン会挨拶として、同会・吉田充孝会長(マツモト産業(株)社長)が登壇し、「約40年前に私がこの業界へ入った直後にレジストン会が発足された。当時は関東圏にニューレジストン殿の出身がなく、強力な競合製品に対し、よく切れる、長持ちする、性能20%増。しかし価格は20%増ではない」という売り文句と、実際にお客様にお使いいただくことで「ニューエース」を拡販し、(少々高くても)良いものを求める職人の皆さんにご好評いただいた。2年前の全国総会で発表された新製品「スーパーレッド」は、創業当時の「赤」のDNAを受け継いでお

り、変わらぬ信念を感じている。安全・安心をサポートする講習会も年間90回近く開催されており、今後も「売って良かった」ニューレジストン製品を会員の皆で拡販していこう」と挨拶した。次に、新支部長として、野村俊明関東支部長(野村産業(株)社長)と大久保重敏四国支部長(大久保産業(株)社長)が紹介された後、前支部長へ感謝状が贈呈された。そして、平成26年度実績表彰を経て新製品「ミニシリーズ」の発表会が行われ、総会は無事に終了した。

その後は第3部の「懇親会」が開催され、また、翌日は第4部の「講演会」で京都大学・中西輝政名誉教授が「帝国としての中国」と題する講演を行った後、ニューレジストン・山内社長の閉会の辞を以って同全国総会は成功裏に終了した。